

令和7年度 大東小グランドデザイン 学校経営・運営ビジョン

教育目標

自ら考え、正しく判断し、実践力のある人間性豊かな児童を育成する

- 自ら気づき 行動する子 [徳]
- 進んで考え 学び合う子 [知]
- からだをきたえ がんばり続ける子 [体]

教師の姿

- ・寄り添う教師
- ・子どもと楽しむ教師
- ・支え合い、磨き合
い、高め合う教師

学級の姿

- ・居心地のよい学級
- ・規律のある学級
- ・認め合い、助け合
い、励まし合う学級

どの子も「学校に来て楽しかった。また、明日も学校に行きたい。」と思える学校
安心・安全な学校【心づくり】 一人ひとりが生かされる集団【仲間づくり】 成就感・達成感が得られる授業【授業づくり】

共通実践

互いのよさを認め合いながら、助け合い、自ら行動できる子ども

■ 自他によさに気づき、認め合い、助け合う集団づくり

- ◎「よさ」を見つける目を育て、「ありがとう」の感謝の気持ちを認め合う指導
- ◎学級活動の話し合い活動や係活動を通した集団づくり
- ◎望ましい集団づくりに向か、QUテストの結果を生かした意図的なはたらきかけ
- ◎くつろえ、気持ちのよい挨拶、返事と場に応じた言葉遣いの指導
- ◎心を耕す読書の日常化の指導
- ◎道徳の時間の充実と家庭と連携した「道徳の日」の推進

数値目標

- 【学校が楽しい】児 95%
- 【あいさつや返事ができた】児 90% 保 85%
- 【友達と助け合った】児90%

進んで考え、友達と考えを伝え合いながら、学び合う子ども

■ 主体的に学び合う授業づくり

- ◎子どもも教師も授業を楽しむ協同的な学びの推進による授業改善
 - ・学びのデザイン
ジャンプのある課題と学習形態(ペア・4人グループ)の工夫
心を揺さぶられる教材との出会い 教科の本質に迫る課題
 - ・学びのコーディネート
個の考えをつなぐ、深める意図的なはたらきかけの工夫
「きく」「つなぐ」「もどす」つなぎ手になる教師の役割の充実
- ◎学びを支える基盤づくり
 - ・学びに向かう力の育成(学習習慣・学習訓練の徹底)
 - ・授業との連携を図った家庭学習の充実(自主学習)
 - ・読書の日常化と家庭学習への位置づけ
- ◎特別支援教育の充実
 - ・個別の支援計画・指導計画の見直しと活用
 - ・自立活動を柱とした課題克服に向けた指導の充実

数値目標

- 【学習内容がよくわかった】児 95%
- 【話し合ったり発表したりした】児 90%
- 【たくさん本を読んだ】児80% 保45%

自ら健康や安全に気をつけ、進んで体をきたえ、

■ 心も身体もたくましい自分づくり

- ◎家庭と連携したセルフマネジメント力の育成
 - ・早寝・早起き・朝ご飯の推進と自分手帳の活用
 - ・メディアコントロール力の育成と家読の推奨
- ◎目標を持たせ、ひたむきに取り組んだことを認め、ほめることによる諦めない心の育成
- ◎体力向上の推進
 - ・教科体育の充実
身体づくりプログラムの継続と運動時間の確保
 - ・わくわくタイムや外遊びによる運動の日常化
- ◎危険を予知し、様々な危険から自分を守る力の育成

数値目標

- 【健康に気をつけて生活できた】児 90% 保85%
- 【進んで運動に取り組んだ】児 90% 保 75%
- 【ネット利用の時間を守った】児80% 保55%

■ 地域とつながり、地域と共にある学校

- ◎積極的な情報発信
 - ・学校・学年だよりの発行
 - ・HPの配信
- ◎地域との積極的な関わり
 - ・地域教材の積極的活用

■ 保護者・地域から信頼される学校

- ・丁寧で誠意ある対応
- ・LEBERによるメール配信の活用
- ・教育公務員としての倫理観の遵守
- ・地域行事への協力

■ 働きやすい学校

- ◎働き方改革の推進
 - ・事務整理の時間の確保
 - ・ICTの効果的活用
- ◎同僚性をもとした「チーム大東」による取り組み

■ つながる学校

- ◎関係機関と連携、協同しながら子どもを育む
- ◎子どもの成長を見通した、幼・小・中の連携の推進
 - ・中学校へのスムーズな接続(小・中連携)
 - ・仲間づくり、人間関係づくり(小・小連携)
 - ・小学校へのスムーズな橋渡し(幼・小連携)